

埋文やまがた



2007年10月31日
第39号



縄文土器（最上町 水木田遺跡）

財団法人 山形県埋蔵文化財センター

YAMAGATA PREFECTURAL CENTER FOR ARCHAEOLOGICAL RESEARCH

〒999-3161 山形県上山市弁天二丁目15番1号 TEL 023-672-5301(代) FAX 023-672-5586

ホームページ：<http://www.yamagatamaibun.or.jp>

メールアドレス：kenkyuuka@yamagatamaibun.or.jp

2007年 発掘調査トピックス

I 川沿いに営まれた古墳時代のムラ

山形市
中山町 かわまえ
川前2遺跡

川前2遺跡は1,600～1,700年前の古墳時代初め頃の集落跡です。これまでの調査(2002・03)で奈良・平安時代の集落跡が調査されましたが、さらにその下から古墳時代の住居跡が6棟検出され、土師器が多数出土しました。

川前2遺跡が位置する須川下流域は、最上川との合流点が近く、白川や立谷川も合流しており、水運の要衝として発達した遺跡と考えられます。しかし増水時には、洪水の危険にさらされていました。遺跡からは古墳時代の土器をまとめて置いたり、火を焚いたりした跡が随所で検出されましたが、洪水を回避するための祈願や儀式が執り行われた結果であったと考えられます。



遺跡は須川の左岸に位置しており、調査区の中央に旧河道が検出されました。手前の平行した細長い白線は古墳時代の畑の跡です。



古墳時代前期の住居跡(5号住居跡)の床には炭の広がりが見られました。



古墳時代前期の土器が潰れた状態で多数出土しました。



古墳時代前期の小型土器がまとめて19点出土しました。



中山町内の小学生が発掘調査を体験しました。

II 山腹に広がる中世寺院

寒河江市 ^{かみ} ^{てら} 上の寺遺跡



調査前の様子です。中央に通る道の両側に、多くの平場が連続しています。

上の寺遺跡は、国指定重要文化財の薬師如来や十二神将で有名な慈恩寺の近くに位置しています。鎌倉時代遺跡の周辺には、それらの仏像を納めたお堂があったとされています。

遺跡は山の斜面に位置しているため、斜面を平坦に利用するために段々畑状の地形が広がっています。

今回の調査では鎌倉時代から室町時代を中心とした時代の遺構・遺物が見つかりました。中でも板碑・五輪塔・宝篋印塔といった石塔の出土は、寺院の存在を裏付けるものとして注目されます。その他縄文時代や奈良時代、平安時代の遺物も出土しています。

調査の結果、縄文時代から現代までの斜面を利用した人々の生活の様子が明らかになってきました。



8×6m程の大きな穴からたくさんの石や焼けた土が出土しました。近くからは鉄滓やフイゴ羽口など鍛冶に関する遺物が出土しています。



上から板碑・宝篋印塔・五輪塔(15世紀頃)



平安時代の須恵器や、縄文時代の石器(右下)が出土しました。



瀬戸産の花瓶(左上)、中国で焼かれた青磁・青白磁(右上)、東北地方産の播鉢(左下)です。(13～14世紀)



中国産の青磁(左上)、越前焼きの甕(右上)、瓦質土器の火鉢(左下)です。(15～16世紀)

III 溝に囲まれた中世～近世の集落

米沢市 堤屋敷遺跡

堤屋敷遺跡は、米沢盆地の南東、米沢市万世町桑山に位置します。縄文時代・平安時代・中世・近世にわたる遺跡ですが、特に中世から近世にかけての集落が注目されます。中世の集落は、外側を幅約2mの溝で囲われ、内側には掘立柱建物跡が建てられ、工房と推定される竪穴建物跡も1棟認められます。溝跡からは、15～16世紀にかけてと考えられる生活の道具として、甕、播鉢、鍋などの陶器や土器、漆器の碗や皿、曲物などの木製品、砥石や石臼などの石製品、刀の鐔やお金などが出土しました。特徴的な遺物は、内側に3ヶ所の把手が付いた内耳土鍋で、大量に出土しています。この遺物は、当時の置賜地方を支配していた、伊達氏の領地で出土することが指摘されています。また、集落の南側には、鷲城などの中世の山城があり、関連が注目されます。



大量の遺物が出土した中世の溝跡です。写真右側が集落の中心で、掘立柱建物跡が建てられています。



大量に出土した内耳土鍋。外側には、煮炊きに用いられた時の煤が付いています。



中世の溝跡から出土した刀の鐔



江戸時代の掘立柱建物跡です。柱穴の底には、礎石が据えられています。



底面に「米」の字が刻まれた漆器の皿



床面に焼土と炭の層が認められる竪穴建物跡

IV 奈良時代から平安時代の役所跡か？

鶴岡市 いわさき 岩崎遺跡

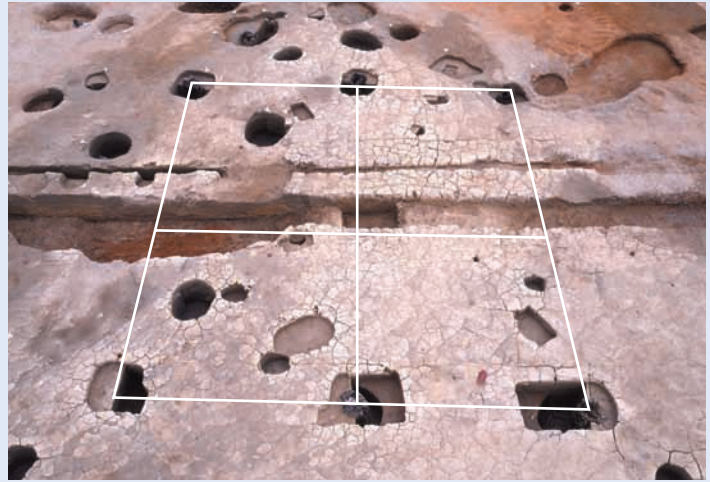


2007年の調査区です。

鶴岡市の中心部から西に広がる田園地帯にある古墳時代・奈良時代・平安時代の遺跡です。古墳時代では住居跡が1棟、奈良時代から平安時代では、倉庫・掘立柱建物・掘立柱列・井戸などが見つかりました。遺跡の南側には掘立柱列を使った塀があります。塀の中には倉庫などの建物、井戸などがありました。

出土した遺物の中には円面硯や風字硯があり、文字を書くことのできる人が中で仕事をしていたようです。また、井戸からは齋串や人形などが出土しています。水に関する祭祀が行われたと考えられます。

見つかった建物や硯などから、岩崎遺跡は役所のような施設だったと考えられます。そばを流れる大山川を利用し、周辺から集めた税を収納、輸送する拠点だったのかも知れません。



倉庫



掘立柱列の柱穴



縦板を井戸枠として使った井戸



横板を井戸枠として使った井戸

出土
遺物



円面硯



風字硯



齋串



人形

V 縄文時代の住居と狩猟場

鶴岡市 かわうちぶくろ 川内袋遺跡



調査区は高台部分とその下段とに別れています。



土器や石器がたくさん出土しました。

川内袋遺跡は縄文時代の遺跡(縄文時代前期、今から約5000年前)で山形県内でも古い時代の遺跡になります。遺構はあまり多くはありませんが、住居跡、貯蔵穴、陥穴が見つかりました。土器や石器といった遺物は多く出土しており、この地域を知る上で重要な遺物と考えられます。

縄文時代の人々はこの場所で動物をつかまえたり、木の実をとったりして生活していたと考えられます。



貯蔵穴
木の実などを保存していました。



竪穴式住居
縄文時代の人が住んでいた住居です。



陥穴
動物などを捕まえるための罠です。

企 画 展 示 の よ う す

山形県埋蔵文化財センターでは、発掘された土器や石器などを広く県民の皆さんに公開する企画展示を実施しています。今年度も10月までに県庁・東北芸術工科大学・山形空港・庄内空港の4つの会場をお借りして展示しました。また、11月14日～29日には文翔館ギャラリー3にて「古代の器と祈り」を開催いたします。どうぞご覧下さい。



「やまがた文化再発見」 ～世界遺産を目指して～展

期日／5月28日(月)～6月28日(木)
会場／山形県庁 1階県民ロビー
内容／教育庁教育やまがた振興課世界遺産推進室と共催し、山形県の稲作に関わる遺物を展示。



「高安窯跡の示す古代社会と 埋蔵文化財の保存科学」

期日／8月1日(火)～8月10日(金)
会場／東北芸術工科大学・文化財保存修復センター4階展示室
内容／東北芸術工科大学と共催し、古代の瓦食器、保存科学に関する出土品などを展示。



「交流するものたち ～行き交う人々～」

期日／9月11日(火)～9月28日(金)
会場／山形空港 2階特設ギャラリー
内容／人々の交流によって山形県に運ばれたモノを展示し、当時の人々の足跡を訪ねる。



「発掘された庄内の歴史」 ～縄文時代編～

期日／10月18日(木)～10月30日(火)
会場／庄内空港 3階多目的展示ギャラリー
内容／吹浦遺跡(遊佐町)と野新田遺跡(鶴岡市)から出土した縄文時代の土器や石器を展示。



土偶と人面装飾付土器

村山市・宮ノ前遺跡

土偶は、土で作り、土器のように焼いた人形です。しかし、子どもたちが遊びで使う人形ではなく、縄文時代の人々が祈りのために使った道具のようです。

多くの土偶には共通した特徴が見られます。それは、ほとんどの土偶は乳房を大きくし、女性の姿をかたどっています。また、手・足・頭など、どこかが欠けて見つかることが多いことです。そして、その理由については、次のような意見が有力です。

縄文時代の人々は「子どもを生んで仲間をふやせる女性は不思議な力をもっている」と考えていました。その新しい生命を生み出す神秘的な力によって自然から得る恵みもふえることを祈るために土偶を作ったのではないかということです。また、「病気になったり怪我をしたときなどに、土偶を身代わりにして、早くなおるように祈ったのではないか」ともいわれています。体の悪いところをこわし、そこに巣くっている悪霊を追い出そうとしたのではないかということです。いずれにしても土偶には、当時の人々の心からの願いがこめられていたようです。

上の写真は、村山市の宮の前遺跡から出土した土偶です。今から約3000年前の縄文時代の後期から晩期にかけて作られました。どれも不完全な形で見つかります。それぞれに豊かな表情があり、とてもユーモラスです。

また、下の写真は人の顔がある土器です。ふつう縄文土器には縄目などの文様がついていますが、中には土偶のように顔やすがたがえがかれたものもあります。縄文人の知恵の深さをうかがい知ることができます。

「埋文やまがた」の購読について

広報誌「埋文やまがた」購読ご希望の方は、当センターまで電話にてお問い合わせ下さい。なお、郵送料はご負担いただけます。

電話 023(672)5301 (代表)

お知らせ

12月8日(土)～9日(日)に山形市のビッグウイングで、「みんなで体験!考古学広場」を行います。楽しいイベントを多数用意しておりますので、ご家族お揃いでお越し下さい。